

JAB RL362:2012 第2版 「認定の基準」 についての指針—電気電子製品環境試験— 改定案に対するコメント

	コメント 提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメン ト区分	コメント内容	提案	JAB 事務局対応案 (凡例 :採用、△:修正等、×:不採用)
1	TDK 株式会 社 品質保証部 村上 修	3.1	2~4	Q	蒸気圧を一定と考えて、湿度不確かさを計算したところ、温度拡張不確かさ:1.1 → 湿度拡張不確かさ:4.6%となった。JIS 規格湿度公差±3%を満たさない状況ですが、ISO/IEC17025 に不適合となるのでしょうか?	試験規格公差と不確かさ推定値との関係における指針等を(参考)として補足して頂ければ非常に助かります。(経営資源とのバランスになります。どこまで不確かさを追求するべきか拠り所として)	第2.2項でJIS規格湿度公差±3%は槽内のどこか1点において満たされていればよいことが規定されています。 空間分布を考慮して推定した不確かさが±3%を超えても1点において±3%以下であれば第2.2項の規定により JIS 規格は満足しています。
2	TDK 株式会 社 品質保証部 村上 修	3.1	2~4	Q	いくつかの試験所の試験データで湿度不確かさを確認されたと思いますが、その結果はいかがでしたでしょうか?	-	空間分布を考慮した場合は JIS 規格湿度公差±3%を満たすことが困難であることはわかっています。
3	TDK 株式会 社 品質保証部 村上 修	3.1	2~4	Q	No1.で「不確かさが JIS 規格公差外でも、不適合にならない」とした場合。規格に近づける努力行動をどの程度まで、要求されるのでしょうか?	-	空間分布を考慮して推定した不確かさが±3%を超えても1点において±3%以下であれば第2.2項の規定により JIS 規格は満足しています。

注：コメント区分には、必ず「G（全般に関するコメント）」、「T（技術的コメント）」、「E（編集上のコメント）」又は「Q（質問）」の区分をご記入ください。

	コメント 提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメン ト区分	コメント内容	提案	JAB 事務局対応案 (凡例 :採用、△:修正等、×:不採用)
4	TDK 株式会 社 品質保証部 村上 修	3.1	2~4	Q	湿度不確かさを求める手 順と1つの試験条件でも推 定された結果があればよ いのでしょうか?	-	設定する湿度が複数ある場合は、最大と最小 の湿度での不確かさ推定結果がある方がよい です。 1 つしか推定結果がない場合は最悪条件で推 定すべきです。
5	株式会社 村 田製作所 野 洲事業所 生産本部 品 質保証統括 部 品質保証部 品質テクニ カル課 楠神 亘	3.1		Q	供試品を置く範囲におけ る温湿度槽内の湿度不確 かさ推定を実施した結果、 JIS C 60068-2-78 条件で ある±3%を超えました。 現状の温湿度槽湿度分布 性能からすると、±3%以下 にした場合、供試品を置く 範囲が大きく限定され、実 用上困難と思われま す。 ご見解をお願い致します。 なお、空間湿度分布の算出 方法として「槽内の蒸気圧 は一定であるとして、温度 分布から求める方法」を利用 しています。		第2.2項でJIS規格湿度公差±3%は槽内のどこ か1点において満たされていればよいことが 規定されています。 空間分布を考慮して推定した不確かさが±3% を超えても1点において±3%以下であれば第 2.2項の規定によりJIS規格は満足していま す。

注：コメント区分には、必ず「G（全般に関するコメント）」、「T（技術的コメント）」、「E（編集上のコメント）」又は「Q（質問）」の区分をご記入ください。